

こんにちは

庄内町議会

No.45
6月議会号
27.7.20



余目第二学区
運動会

- 審議に3時間30分 ————— 〈補正予算〉 3
- 町政を問う12人の提言 ————— 〈一般質問〉 4
- 提言へ向け調査中 ————— 〈委員会中間報告〉 13
- 町政のあんなこと こんなこと — 〈町民と語る会〉 14
- 目指せJリーガー ————— 〈生声ひろば〉 16

生声ひろば

八幡スポーツ公園
(サッカー場)
インタビュー記事



俺も未来のJリーガー

八幡スポーツ公園がオープンして2年が経ちました。いつもサッカー場を利用している、鶴岡市在住のご家族の声を聞きしました。

Q 庄内町のサッカー場の魅力はなんですか。

A この様な本格的なサッカー場は、県内でも数少なくJリーガー気分が味わえます。チームの練習だけでなく、この会場で開催される試合にも参加しています。



鶴岡市 今野さん家族

Q このサッカー場は使いやすいですか。

A 人工芝なので管理は行き届いていますが、夏場はコース内が高温になり厳しいです。

Q スポーツ公園の環境はどうですか。

A 近くに体育館や八幡公園があり、休憩時間などは応援に来た家族もくつろげます。

Q 要望などありますか。

A 立派な施設ですが、応援用観客席がなく残念です。また、日陰になるところがなく、夏場の試合観戦は大変です。

次世代のJリーガー 誕生に期待する

要約筆記



「ばんけの会」の協力で「やまびこ」の協力です。本町議会は独自の活動として、10年以上も前から要約筆記を導入しています。今回は6月12日に実施しました。当日は社会福祉関係の皆さんをはじめ、12人の方が傍聴に来てくれました。

大型スクリーンから要約筆記の画像が映し出され、発言、答弁が分かりやすかったと好評でした。

● 要約筆記ばんけの会 菊池みつ子(代表) 齋藤志保子

● 要約筆記の会やまびこ 柿崎 明子(代表)

旧余目町と旧立川町が合併し、庄内町の誕生から10年が経った。6月27日響ホールを会場に、県、南三陸町、近隣市町より代表者等多くの町民の参加を得た記念式典が開催された。平成の大合併は、全国的にも多くの市町村が、合併を果たした。県内では、一番で庄内町が誕生し、合併に尽力された関係者の努力があった。

記念式典では、友好町である佐藤仁南三陸町長より、大震災時における本町の支援活動への感謝と、その後の復興状況について講演があった。会場内は当時は振り返り、熱い思いが込み上げ、涙する場面もあった。

現在復興は3割程度

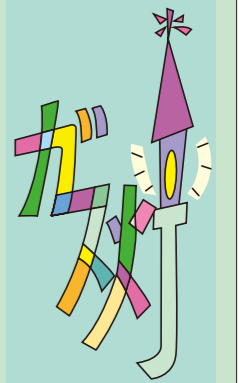
の進捗状況だが、友好町としての役割を改めて感じ取り、町民あげて協力することを願う。

(五十嵐 啓一)

発行人 長 富樫 透
議長 五十嵐啓一
議員長 齋藤 秀紀
副委員長 上野 幸美
委員 齋藤 幸美
委員 上野 幸美
委員 齋藤 幸美
委員 齋藤 幸美
委員 齋藤 幸美
委員 齋藤 幸美



南三陸町 魚龍太鼓(10周年記念式典)



審議に3時間30分

認可保育所運営費補助金は妥当か

質問 協定書には、職員
の派遣の人数は書か
れていないのではない
か。
回答 協定書には具体
的な人数はないが、三
者懇談会において、町

質問 認可保育所運営
費補助金538万円は、な
ぜ交付するのか。
回答 余目保育園の民
営化に伴い、町の職員
を3人派遣することに
なっていたが、1人の
派遣となった。このこ
とにより、2人分の人
件費を補助することに
した。

なぜ補助金なのか

平成27年度一般会計補正予算は、6千915万円を減額するものです。
主な減額要因は、余目保育園建築への県補助金が国交付金に変更さ
れ、交付金額が3千171万円増額になりました。このことから、町の保
育所整備事業費を2千920万円減らすことができました。
認可保育所運営費補助金538万円に補助要綱がなく、目的がはっきり
しないことなどで質問が多く出されました。町長からお詫びの言葉が
あり、3時間30分を要し賛成10反対5で可決しました。

町長お詫び

賛成多数で可決

から3人の職員を派遣
することで確認したも
のである。

質問 約束が果たせな
かった分をお金で解決
するのか。補助に対し
て、要綱はあるのか。

回答 保育士を国の基
準以上に確保すること
で、保護者の不安を払
しょくするとともに、
三者懇談会の協議より
移管先法人は、3人の
派遣で運営費をみてい
ることから、町の責任
として補助をしたいと
思っている。要綱は整
備中である。

その他

質問 平成26年12月定
例会で、(社福)和心に、
無償譲渡が可決された
時、解体費用は、和心
がすることになってい
た。今回の国交付金に
解体が含まれていたこ
とにより、平成26年度
での一般財源が、8万
8千円であったが60万
円までふくれあがった。
なぜ、解体を入れたのか
回答 解体は、平成28
年度に行う予定だった。
国交付金のなかで建設
費用と解体費用を平成
27年度に一体的に行う
計画なので発生した。



補助金でより良い環境を

石川 武利
澁谷 勇悦
五十嵐 啓一
吉宮 茂
押切 のり子
齋藤 健一
國分 浩一
鎌田 準一
小林 清一
村上 順一

齋藤 秀紀
小野 晴
工藤 一
石川 幸
上野 美

賛成した議員

反対した議員

議案

6月定例会は6月9日から17日まで開
催され、各会計の補正予算、条例などを
原案どおり可決しました。
一般質問では、12人の議員が町政全般
について町当局の考えを質しました。

除雪専用車購入

除雪幅が2.2メートル
で、馬力は1時間2千
500tの処理能力がある。
昨年購入の除雪車(1
時間900t)に比べ、約3
倍の効果が見込める。
質問 納入期限が平成
27年12月25日となっ
ているが大丈夫なのか。
回答 納入業者からは
期限内に納入可能と聞



フルパワーで1時間 2,500 t

いている。
質問 路線はどこか。
回答 清川・狩川地区
になる。

そのほか、処理能力
が高いことから全般的
に配置の見直しをして
効率の良い除雪を行う
よう意見が出された。
賛成全員で可決

小型動力ポンプ

小型動力ポンプB-1
3級を6台、平成27年
7月31日まで納入期限
で購入する。1台当た
りの金額は、145万6千
380円。
質問 本体以外にも備
品はいろいろあるが、
トラックに掲載する時
の安全性は確保されて
いるのか。

回答 固定装置は含ま
れないのでトラックで
の出勤は控える。台車
での出勤範囲で消火に
努めるよう指示してい
る。
賛成全員で可決

このように決めました

総合体育館

総合体育館は昭和57
年に建設され、33年経
過している。
今回は、目視の点検
で軒天が老朽化してい
ると判断し改修をす
る。費用は、6千561万
円の内、足場費用に3
分の1、残りを板金工
事としている。



足場費用生かしての判断が問われる

質問 足場費用は高額
なので外壁も一緒にで
きないのか。屋根はど
うなっているのか。
回答 外壁は、工事管
理に含まれていること
から修理可能である。
屋根は調査したい。
工期は、平成27年11
月10日まで。
賛成全員で可決

質問は 事前通告制、60分の持ち時間で行われます。質問内容は、質問した議員が200字以内で要約したものです。回答は、事務局が会議録をもとに要約したものです。

地方創生 PR 方法を示せ

町長 チラシ1万枚を配布している

問 地方創生事業のふるさと名物商品、旅行券発行事業は、インターネットを通じて実施されるが、町外の人へのPR方法は何か。



五十嵐啓一議員

町長 ふるさと名物商品・旅行券発行事業は、町のホームページやフェイスブックのほかに、1万枚のチラシを東京庄内会やふるさと納税者、JR羽越線の「きらきらうえつ」利用者に配布し、PRしている。

問 低所得者への支援事業の商品券5千円支給は、効果があるのか。

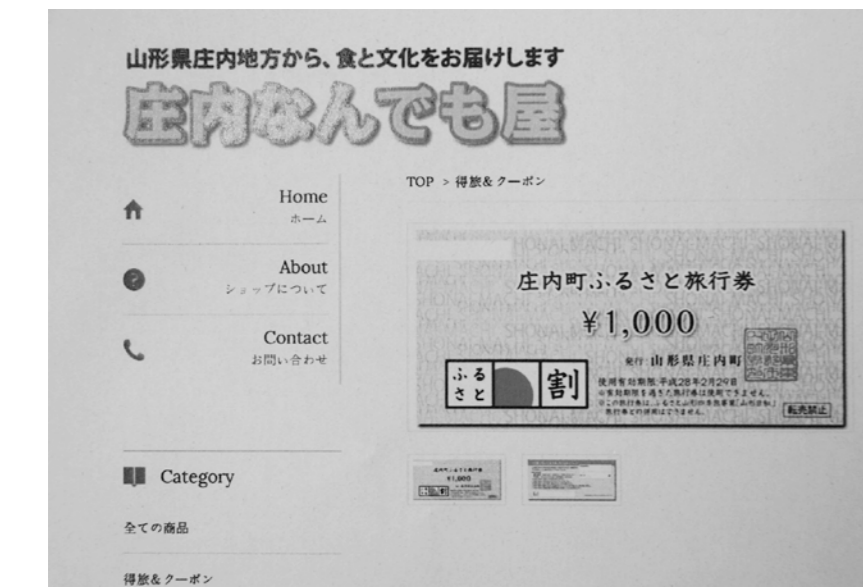
町長 支援は、現金よりも商品券を活用し地域への循環を図ることを考えている。

問 地方版総合戦略策定事業に1千万円が予算化されているが内容は何か。

町長 総合計画と地方版総合戦略は密接な関係がある。他の個別計画なども整合性を図りながら策定を進める必要がある。

問 子育て支援の観点も含め、産業振興につなげ、行政も利益を得ながら、それを還元していく考え方に立っているか。

町長 子育て支援の観点も含め、産業振興につなげ、行政も利益を得ながら、それを還元していく考え方に立っている。



ネットだけのPRで十分なのか



働きやすい環境 は町の責任で

問 昨年7月に総務省から働く貧困層と言われる、地方自治体の臨時非常勤職員の適切な任用等を求める通知があった。内容は責任に応じた報酬等の水準の決定を適性にとあるが、実態はどうか。

町長 非正規職員の賃金は、県内でもすべての職種で高位にあると認識している。

問 夏季休暇も正職員並みに5日間を与えるべきではないか。非常勤職員のほとんどは女性であり、子育てしやすい環境に整えるべきである。

町長 現在3日間の夏季休暇は、現段階では見直す考えはない。

こんにちは庄内町議会です

北月山荘 さらに観光名所にせよ

町長 多くの方々の憩いの場にしたい

問 北月山荘では防災時の安全のために、縄梯子を整備している。しかし高齢者の利用客が多いため、災害時に安全な対応ができるか検討すべきである。



押切のり子議員

町長 山荘のイメージを生かしながら、少しずつ改修を進めてきた。全体の内部的な構造も含め、総合的に判断する必要がある。

問 山荘のイメージを生かしながら、少しずつ改修を進めてきた。全体の内部的な構造も含め、総合的に判断する必要がある。

問 旧館の外壁の塗装が著しく劣化している。今後多額の費用が発生しないためにも早めの対応が必要である。

町長 景観維持と併せ、小出沼のファミリー牧場のように、子どもたちが羊に触れ合える場も検討している。より多くの方々の憩いの場にしたいと考えている。

町長 相談窓口を設置し、相談員を配置する。

町長 特別休暇は、平成23年4月から、嘱託職員は職員同様に忌引休暇を加えて

町長 特別休暇は、平成23年4月から、嘱託職員は職員同様に忌引休暇を加えて

平成27年7月20日号 第45号

平成27年7月20日号 第45号



劣化した外壁 利用者もがっかり

第18回全国風サミット 町の魅力を発信せよ

町長 観光と併せ、物販等も検討している

問 今年10月21日〜23日に行われる全国風サミットには、県内外から約400人の来場者が見込まれると聞かれます。町の魅力を全国に発信する好機としてどう捉えているのか。

町長 全国風サミットには、全国から200人の関係者、地元から200人の参加者を考



國分 浩実 議員

町長 一般来場者を増やすため、イグゼアまるめを中心に商工会青年部、女性部から協力いただき、接待と併せ物販事業を展開する計画としている。

町長 この町が好きと答えた中学生が82.3%いた事実を大事にしたい。

《その他の質問》
●町民アンケート調査の結果を基に、若年層への定住を働きかけてはどうか。



風サミット発祥の地で開催（庄内町）



ここに精肉と鮮魚があったらウレシイ

町長 国土交通省の道の駅認定の条件が高くなり、きらりと光る売りや、地域課題解決への具体策の資料も求められたため。現在は平成28年4月の登録、5月頃のオープンと考えている。

町長 地域交流の拠点として、産直部門強化のための会員拡大、魅力ある産品、ここだけの加工品、地

町長 指定管理者の管理運営組合では、品揃えの拡充を図る考えだが、肉や魚は

町長 眺望は、地権者と話し合い、改善を図りたい。●本町の農業形態の将来像は何か。
町長 あくまでも農家次第である。

クラッセ 地場産農産物にこだわっているのか

町長 総合的に農業振興を考えていく

問 「庄内町新産業創造館」整備推進計画の目的では、食のアンテナレストランや産直販売の営業で庄内産米の美味しいご飯、野菜、庄内豚等地場産農産物へのこだわりをあげているがどうなっているのか。地元



上野 幸美 議員

町長 食のアンテナレストランでの地場産野菜等の利用状況は、整備推進計画の趣旨にのっとり、野菜や米はバザールの商品を使用して生産者の顔の見える関係づくりは、地元の会員を増やし、地場産野菜を出してくれる環境づくりをしている。広範囲に総合的な見方で農業振興を考えていきたい。

町長 隊員が何を目的として将来の夢を実現できるか、仕掛けていきたい。

《その他の質問》
●地域創生総合戦略に地域おこし協力隊員の増員をせよ。



どれだけ使っている 地元の野菜（やくけっチャーの）

問 道の駅の申請は、平成27年6月の予定であったが、なぜ遅れたのか。また、



齋藤 秀紀 議員

問 風車市場は、狩川地区にあるが、他市町村から見れば、庄内町の風車市場

元食材を使用した食堂など、地域おこし協力隊を配置し、話し合いをしている。

話題になっていない。
《その他の質問》
●楯山公園からの眺望改善など今後の課題は

ひきこもり対策 **サポーター制度導入せよ**

町長 **当事者への対応体制づくりを進める**

問 ひきこもり(社会生活に困難を有する若者)対策で平成25年度県下一斉に実施したひきこもりアンケート調査では、県内には1千600人の該当者がおり、本町では29人という調査結果となった。県はこのデータを基に対策を講じているが、本町はどうか。



石川 武利 議員

町長 ひきこもりサポーター派遣事業は、県の養成研修を受けて県に登録されたサポーターを市町村に派遣する事業である。ひきこもりの当事者が

問 前回のひきこもりサポーター派遣事業導入の質問に対する答弁は、支援計画に取り上げ調査したとあった。その後どうなったのか。

町長 ひきこもりサポーターを受け入れるのが一番難しい。まずはサポーターを増やすため、民生委員から養成研修を受けてもらい、当事者に対応できる体制づくりをすすめていく。

町長 今後、民生委員、児童委員の協力により、実態把握調査を予定している。この調査で具体的な内容を把握し、個別調査票を作成し、対策をしていく。



早めのサポートが必要



求められる 新規就農者

問 本町では、施設園芸をめぐり新規就農者に対し、就業研修を実施しているが、農業は本町の基幹産業であり、U・I・Tの新規就農者があれば、本町の人口増加につながるうえ農業に活力を与えることもできると思う。そのため、新規に農業をめざす方の研修から就業、そして就業当初の不安定な経



小林 清悟 議員

町長 農業後継者の育成として「園芸農業実践研修支援事業」が果たしてきた役割は非常に大きいと認識している。また、国の「青年就農給付金事業」に取り組んでいる

町長 とも含め、県もU・I・Tラーナーを確保しようとしている。同時に、どういう農業をしたいかを把握し、そこで暮らせる体制を構築し、その内容を発信できる体制が必要と考えている。地方創生のなかで組み立てていきたい。

町長 計画実数は、最終年度に目標に達するかどうかである。平成27年度実数が2人減なので、計画を越えていないため目標達成と考える。

高齢者温泉等割引券 **無料利用も可能とすべき**

町長 **町民の声を大事に検討していく**

問 高齢者福祉温泉割引券は、無料利用を廃止し、割引券を増加した。これは、人の流れを促進して、にぎわいの創出に寄与する施策である。しかし、多くの利用者からは、無料利用が無くなり不満の声が聞かれる。また理美容割引券利用者からは、小



澁谷 勇悦 議員

町長 高齢社会が進むなかで、町に出て元気に暮らしてもらうことで町の活性化を図ることを考えた。予算は増額になるが、昨年までの利用状況などから考え、理美容や温泉に出かける回数を増やした。総合的な判断が必要であり、単なる枚数の問題ではない。

町長 間切れの10回になったことに不評の声がある。入浴券は2枚使用で無料、理美容券は10枚で一回使用もできるようにし、与えられた範囲内であれば、その使用方法は、利用者の使いやすさに任せるべきでないか。

町長 この事業が始まって2カ月である。目的が達成できない、効果が少ないとなれば、当然見直しを図る必要がある。町民の声を大事にしながらより良い方向を考えていく。

町長 対象者全員に贈呈している。対象者全員に贈呈すべき。



賛否が分かれる割引券

U・I・Tラーナー支援 **新規就農支援を整備拡充せよ**

町長 **地方創生のなかで検討していく**

町長 新規就農者も多い。時代の変化で、U・I・Tラーナーの需要と供給体制が変わってくる

町長 定員適正化計画の職員数に実数が達していないがどうか。

非正規職員 待遇改善せよ

町長 検証し、調査検討していきたい

問 嘱託職員は、法的に労働基準法が適用される。総務省からも同法に沿った運用をするよう通達があったはず。にも関わらず勤務時間が週40時間を超えた場合も時間外手当が付かない取扱いは違法状態であり改正すべきではないか。



小野 一晴 議員

町長 嘱託職員とパート職員に引き分けが無く、国の非正規職員は100%、全国の市町村は66%が同休暇が取れる。意欲的に働いてもらえるよう整備すべきではないか。

町長 現段階で忌引休暇は嘱託職員のみにある。臨時・パート職員は、まず年休取



一人でもいいのか相談員

町長 卒業後の県外転出率は、庄内が一番高く、若者の定住が低いことが背景にある。地元への就業状況とその施策はどうか。

町長 結婚すること、を大前提にしないと人口減少は止まらない。婚活支援は県も



齋藤 健一 議員

問 急激に未婚化・晩婚化が進んでいる。若い世代の地元就労の場が少な

町長 リーマンショック以降、地元定着率が少しずつ上昇しており、ここ数年は地元の新規採用も好転してきている。庄内あげでの取り組みが功を奏してきたと思う。

問 婚活支援事業で結婚相談員一

町長 仲人制度は、まず相談員を配置し、仲人に類する仕

力を入れ、行政が行うことになっている。地方創生のなかで整理するタイミングもある。

町長 婚活支援事業 婚活・地元就労は一体で 地方創生のなかで整理する

人を委嘱し、手当として100万円予算化した。一人では限りがあり、活動が半端となり、活動が半端となり、活動を半端にする。事をする方々をまとめて内部的な仕組みを強化することが必要だと考えている。

ハッピーシール 健康増進・商域刺激策を図れ

町長 地方版総合戦略に組み入れる

問 「やまがたマ イレージ事業」の取り組みと並行して、庄内町独自の進め方も検討してはどうか。

例えば、町が実施する複数の健康増進事業にポイントを持たせ、すでに町の商域で利用されているハッピーシールに付加するなど。その結果、このサー



鎌田 準一 議員

町長 健康寿命の延伸と商域刺激策をどのようにポイント制度、マイレージ制度のなかで活用できるか。本町では「たべぶらバスポート」や「一店逸品運動」クラッセ「温泉」などと、どのように組み合わせられるか。健康診断の受診率向上の秘訣を助長する手立てなどを組み合わせ本町に合ったやりかた

を考える必要がある。今やるべきもの、さらに上乗せができるか。応用し幅を広げられるか。検討し、地方版総合戦略のなかに組み入れたい。

町長 これまで小・中・高の連携の強化を図り、交流授業をしてきた。今後も進めたい。

町長 庄内総合高校の存続について地元として、今後どのようなプログラム、方針を考えているのか。



ハッピーシールでお得に連携

自治体で働く非正規労働者の雇用安定、処遇改善は切実です

3人に1人が非正規で働いています

年収200万円以下がほとんどです

よりよいサービスのために

自治体では学童保育員、図書館職員、学校用務員、学校給食の調理員や保育士の多くが非正規で働いています。また、ケースワーカーや病院職員の多くも非正規雇用が拡大しています。病気休職や育児休業などの休暇制度もほとんどありません。

非正規職員の、賃金労働条件は低く抑えられており、いわゆる官製ワーキングプアと言われる職員がほとんどです。また、その雇用はいつ打ち切られるかわからず極めて不安定です。

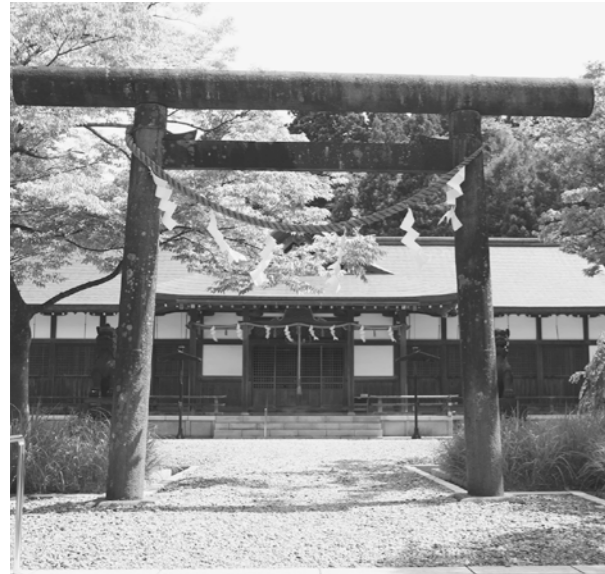
賃金面、いつ雇用が打ち切られるかわからない状態では住民のみならずサービスを提供していくことが困難になります。労働者の権利をまもり、誰もが安心して利用できる公共サービスのため取り組んでいます。

安定雇用でサービス充実

議会閉会中も調査活動しています

より良い町づくりのために

提言へ向け調査中



行ってみて 北館神社

総務文教厚生
常任委員会

中間報告

テーマ
遊休財産の有効活用について

調査事項
(1)適正な財産管理について
(2)維持管理費について
(3)売却について

本町の町有財産における土地の普通財産は96件あるが、現地調査の結果、遊休財産と判断されるものが28件ある。普通財産の多くは無償貸付で対処されているが、未利用もある。名称で現場の確認が難しい場所や、資材置場が2箇所あるなど今後の整理が必要である。

調査する目的は(要旨)

維持管理費が伴う草刈りや防除等、毎年財政負担が発生している。



早く売れて欲しい

実現可能な提言を目指して

調査する目的は(要旨)

町は、自然や歴史を生かした観光交流人口拡大を目指し、月山山頂が庄内町であること、PRし、立川地域の観光交流人口拡大を積極的に推進する方針である。

その一つである風車村一帯は、旧立川町の観光の中心として町内外の人々に親しまれて

きた。
シンボル風力発電3基の取り外し、利用できない天体観測など、施設上の問題等により以前のにぎわいは無く観光交流人口の拡大や地域振興に繋がっていない。

産業建設
常任委員会

中間報告

テーマ
風車村一帯の振興について

調査事項
(1)風車村の魅力づくりと整備
(2)楯山公園の魅力づくりと整備
(3)風車村周辺施設と連携強化による振興策

願 採 請 採

改善せよ教職員定数・義務教育費

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書
(意見書賛成全員で可決)

意見書・前文略

記

1 子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。

2

教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元すること。
平成27年6月17日

請願者

山形県教職員組合
田川地区支部
支部長 佐々木美喜子

提出先

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
外務大臣
文部科学大臣

願 採 請 採

年金積立金大事に扱って

年金積立金の安全かつ確実な運用に関する意見書
(意見書賛成全員で可決)

意見書・前文略

記

1 年金積立金は、厚生年金保険法等の規定にもとづき、専ら被保険者の利益のために、長期的な観点から安全かつ確実な運用を堅持すること。

2

これまで安全資産とされてきた国内債券中心の運用方法から、株式等のリスク性資産割合を高める方向での急激な変更は、国民の年金制度に対する信頼を損なう可能性があり、また、国民の財産である年金積立金を

3

毀損しかねないため、行わないこと。
GPIFにおいて、保険料拠出者である労使をはじめとするステークホルダーが参画し、確実に意思反映できるガバナンス体制を構築すること。
平成27年6月17日

請願者

連合山形鶴岡
田川地域協議会
議長 上野 利明

提出先

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
厚生労働大臣

人事

●教育長

8月16日で任期が満了する池田定志氏(上荒宿)に替わり、菅原正志氏(南野)を任命することに同意しました。

賛成14・反対1で同意



菅原正志氏

●教育委員

8月16日で任期が満了する菅原正志氏(南野)に替わり、加藤将展氏(興屋)を任命することに同意しました。

賛成全員で同意

お詫びと訂正

平成27年3月定例会号(第44号)に誤りがありました。
●P13 新教育長の賛否は正しくは賛成全員が正確な票数になります。

●P13 環境課廃止の賛否は正しくは賛成14 反対1で可決になります。

以上2カ所訂正してお詫びいたします。

町民のみなさんと語り合いました

町政のあんなことこんなこと



貴重な意見を受け止めます

どうなる役場庁舎建設 財政は大丈夫か

5月29日、6月1日、2日の3日間にわたり町内7会場で「町民に開かれた議会と積極的な町民参加を推進する」ことを目指し開催しました。今回は特定テーマを設けず、自由討議で行いました。

問 庁舎の再利用は考えていないか。

答 耐震補強での対応できない。町では新設に向けて整備検討会を立ち上げ検討している。

問 庁舎建設に合併特例債を使えるのか。

答 使える。庁舎は平成32年度までの完成を目指している。

問 町債が増加しているのに新庁舎は大丈夫なのか。

答 合併特例債を活用するが、町債の増加は最小限に留めるよう、チェックしていく。

問 町の財政規模は近年100億円を超えているが心配はないか。

答 合併特例で地方交付税を多く受けている。町は歳出3億円削減プロジェクトを策定し対応している。

問 町税収入より多い人件費大丈夫か。

答 職員数削減など、努力している。行政サービスも多岐にわたっている。現状を注視していきたい。

問 教育にかかる予算をもっと多く割り振るべきではないか。

答 財政シミュレーションを確認し、近隣市町と比較しながら予算確保に努める。

議会への意見等



フリートークで盛り上げる（第四公民館）

問 語る会への参加者増加に工夫を。

答 開催時期・呼びかけ方法等さらに考える。

問 議会広報紙に議論内容を詳しく掲載できないか。起債のデメリットも知りたい。

答 議論内容は紙面の制約等がある。起債はメリット重視で掲載した。

問 環境課の廃止に十分議論をしたのか。

答 環境課だけでなく、行政がより効率的に機能するため、各課横断的な業務内容の見直しを適切と判断した。

問 庄内総合高校への支援はどう取り組んでいるのか。

答 町や支援同盟会とともに県への要望を行っている。

青壮年、女性の参加増が課題

参加者は約60世帯に1人の割合
年代別では60歳代以上が9割
女性参加者は3人

会場別参加者

会場	人数(前年度)
余目第一公民館	12 (21)
余目第二公民館	12 (23)
余目第三公民館	9 (23)
余目第四公民館	27 (7)
狩川公民館	13 (8)
清川公民館	22 (24)
立谷沢公民館	7 (13)
計	102(119)

年代別参加者 (アンケート提出者から)

年代別	人数(前年度)
20歳未満	0 (0)
20歳～	0 (0)
30歳～	2 (0)
40歳～	0 (1)
50歳～	3 (6)
60歳～	48 (66)
70歳～	18 (26)
不明	1
計	72(100)

地域の身近なところでは

問 バス通学の要望を取り上げてもらえない方法はないか。

答 集落・学区一丸となって要望してはどうか。

問 集落公民館の修繕・遊具に係る補助金はないか。

答 「集落施設整備事業補助金」「住みやすい地域づくり活動交付金」がある。

問 清川体育館の改修工事の状況と予算計上。トイレは残すのか。

答 下水道入替工事120万円。昇降口は改修予定。トイレは残す必要がある。

問 立谷沢駐在所が廃止と聞くが、存続は地域の願いである。

答 議会としても地元の声や町に反映させていきたい。

問 立川中付近の町道拡幅を集落要望として出しているが、優先順位が3位となっているため、この先めどが立たない。

答 優先順位については改めて地域で話し合ってもらい、合意形成が出来れば順位を変更していただくなどの対応をとれば、町の動きも変わってくると思う。

問 町内で婚活イベントを開催しているが、結婚できない人が多くいる。仲人制を設けるなどして、婚活を積極的に進めてほしい。

答 本町でも力を入れて取り組んでいるが、婚活に参加できずにいる人が多くいる。仲人(サポーター)の登録制度を設けて経験のある方を募るなどして取り組みなければ成果が上がらないのではないか。

問 高齢者温泉等割引券は無料制を復活し、美容券は割引額が低く恩恵が薄いのではないか。

答 高齢者の健康保持・社会参加の目的から変更した。4月5月の利用は前年を上回っている。

問 “高齢者のつどい”の取り止めの理由は。

答 区長の労苦、参加者減、マンネリ化等が、要因と理解している。

このような意見等もありました

意見

- ・防災無線を通じて行方不明者の情報提供の放送がされたが、内容が分からなかった。伝達の工夫が必要ではないか。
- ・保健医療費の削減のために、町は積極的にジェネリック医薬品使用を勧めてはどうか。
- ・町の花「クロユリ」が想像の花になっていないか。月山山頂付近に生息している「クロユリ」を町のシンボルとして、月山山頂の町であることをPRしてはどうか。

要望

- ・町の施設の改修工事等を要望しても、使用頻度や使用者数が低いと予算化が遅れる場合がある。地域の実情を総合的に考慮して判断して欲しい。
- ・高齢者のつどいが取りやめになった。経費分は、全額各自治会で実施している高齢者事業に配分すべきである。

詳細は冊子として各公民館に配置しています。また議会のホームページでもご覧いただけます。